



平成 30 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ー ブ ッ ク  
イ ニ シ ア テ ィ ブ ジ ャ パ ン  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 出 斉  
(コード番号：3658 東証第一部)  
問 い 合 わ せ 先 最 高 財 務 責 任 者 辻 靖  
(TEL. 03-3518-9544)  
当 社 の 親 会 社 ソ フ ト バ ン ク グ ル ー プ 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 孫 正 義  
(コード番号：9984 東証第一部)  
当 社 の 親 会 社 ヤ フ ー 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 川 邊 健 太 郎  
(コード番号：4689 東証第一部)

#### 特別損失の計上、法人税等調整額（益）の計上及び通期個別業績予想に関するお知らせ

株式会社イーブックイニシアティブジャパン（以下、「当社」）は、平成 31 年 3 月期第 2 四半期において、下記のとおり特別損失（固定資産及びのれんの減損損失）及び法人税等調整額（益）を計上しましたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 30 年 4 月 25 日に公表しました「平成 31 年 3 月期の通期個別業績予想」を下記のとおり修正しましたので、併せてお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 特別損失（固定資産及びのれんの減損損失）の計上について

当社の電子書籍事業において、平成 30 年 10 月 1 日に電子書籍販売サイトを全面リニューアルしたことを受けて、既存サイトに関する固定資産の将来の回収可能性を慎重に検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額 182 百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

加えて、インドネシアでの電子書籍配信において、当初策定した収益計画を下回って推移していることから、今後の事業計画を見直し、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、当該資産の帳簿価額の全額 9 百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

また、クロスメディア事業において、当社が平成 28 年 5 月に吸収合併した株式会社ブークスの株式取得時に計上したのれん及びその他一部の固定資産について、配送費の高騰等の事業環境変化により当初策定した収益計画を下回って推移していることから、今後の事業計画を見直し、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、当該資産の帳簿価額の全額 83 百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

##### 2. 法人税等調整額（益）の計上について

平成 31 年 3 月期第 2 四半期において、今後の業績の見通し等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性が認められる部分について繰延税金資産を追加計上いたしました。

これにより、平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）において法人税等調整額（益）を 65 百万円計上いたしました。

### 3. 通期個別業績予想について

(1) 平成 31 年 3 月期通期個別業績予想 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	13,500	300	300	180	32.52
今回修正予想(B)	13,500	460	460	100	17.97
増減額(B-A)	0	160	160	△80	
増減率(%)	—	53.3	53.3	△44.4	
(参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月)	11,882	280	287	159	28.81

#### (2) 修正の理由

売上高については、電子書籍事業において出版社と連携したポイントアップキャンペーン等により電子書籍配信の伸びが好調に推移していること、またヤフーとの業務提携に基づく電子書籍提供が堅調に伸長している一方で、紙書籍の配送費高騰に起因してクロスメディア事業の売上高が鈍化傾向であることを受け、前回発表予想を据え置きとしております。

営業利益及び経常利益については、新コミックアプリの導入や電子書籍販売サイトの全面リニューアルに伴う販管費増(関連固定資産の減価償却期間の見直し、及びユーザー獲得のための広告宣伝費増等)やオフィス移転に伴う販管費増がある一方で、売上総利益率の高い電子書籍事業において売上高が好調に推移していること、広告宣伝投下の効率化等により、前回予想を上回る見通しです。

当期純利益については、上記の通り平成 31 年 3 月期第 2 四半期において特別損失(固定資産及びのれんの減損損失) 275 百万円を計上したことを受け、前回発表予想を下回る見通しです。

以上の状況により、平成 31 年 3 月期の通期業績予想を修正いたします。

#### (業績予想に関する注意事項)

本資料に記載しております予想数値は、当社が発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上